

# 第71回総会学術大会の 開催にあたって

東京大学医学部附属病院  
実行委員長 矢野 敬一



今回、突然ですが第71回総合学術大会の実行委員長を務めることになりました。まずは大会に向けて、ご尽力をいただいている実行委員、各学会の推進・運営されている方々へ感謝と共に御礼申し上げます。大会長、平野浩志氏のもと、国民医療の実践に想いを寄せ、医療安全、技術開発、人材育成などに日夜取り組んでいるプロフェッショナルな人材が募っており、今回の大会を支えています。これも偏に大会長のお人柄、人望がなせる技だと確信しております。

次に JRC2015 の大会のテーマについて表現させていただきます。“Be Cool and Practical”クールにそしてプラクティカルにと外来語的にご理解いただいても良いと思いますが、少々補足させていただきます。医療においてクールとは何でしょうか。??少々私見も入ってしまいますが、例えば医療における格好の悪さは、良く理解できていないが取り敢えず診療や機器操作をなんとなく行っている。患者説明、同僚や後輩への解説・指導は行っているがきちんと説明できていない。改善したいが方法や適応する能力が足りない。トラブル処理や危険の予知できず、どうして良いか判らない等々が思い浮かびます。医療に携わる上で実にあやふやで危険な状態が起こり得る状況が、やはり格好が悪いと言えるのではないのでしょうか。換言すれば、しっかりと裏打ちされた理論や知識、技術、経験に基づき、あくまでも冷静に沈着に対応し有用・有能であることが‘Cool’なのではないのでしょうか。また、3学会が、協調、結束した広がりの中で個々がプロフェッショナルとしての美学を持ち‘Practical’に行動して行くことが、安全で安心な医療を推進して行く上で重要な要素となるように思います。皆様“Be Cool and Practical”プロとしての責任を果たして行きましょう。

さて、今回の実行委員会の企画においては、X線撮影の原点に帰り、一般撮影領域の見直しを行いX線写真について異なった視点で特別公演を2題用意しております。まずは、診療放射線技師の業務拡大等の話題もあり、撮影業務の運用自体の変化も兆しが見えております。今回、特別公演として「正常胸部X線像の学び方、教え方」をご講義いただき、その後、特別企画として寺子屋という公開フォーラムを設けております。内容としましては、胸部撮影の画像を読み解くというシンプルですが奥が深い構成を考えました。胸部X線写真を複数枚のスクリーンに投影し、陰影から読み取れる情報を解剖写真等と照合し、現実に体内で起きている状況を福井大学の伊藤春海先生に解説をいただきます。

次に、今までのX線撮影の領域では散乱、屈折されたX線成分は、画質の低下、あるいは障害陰影招く成分として除去することを一般的に行われていましたが、数年前より、この分野において、照射されたX線成分を遍く利用し、従来にないX線画像を撮影する技術が開発されてきている。いわゆる位相コントラスト撮影法、わずかなX線の屈折を画像化する技術となります。実際にはX線タルボ効果を用いた撮影となり、研究段階ではありますが東北大学の百生敦先生より「X線を極める ―X線タルボ・ロー撮影に至るまで―」をご講演いただきます。

合同企画といたしましては「放射線防護の国際的な考え方と医療被ばく管理」、「放射線治療におけるチームワークの重要性」、「放射線医療における自動化(オートメーション)技術にどう向き合うか?」の3つのシンポジウムを開催いたします。JSRT担当の「放射線治療におけるチームワークの重要性」に関しましては、看護師さんにもお願ひし、ナーシングや他職種との関わり合いの中で、放射線治療に携わっております医師、物理士、看護師、放射線技師それぞれの立場から、専門性を生かした、患者さんへの関わり方、または役割を通して、チームワークの重要性は何かというものを浮き彫りにしたいと考えています。それぞれの立場から、広い意味での専門性のご紹介と専門性を通して供給できる患者さんへのメリット、職種連携による安全への担保等を討論いただければと考えております。

JRC2015におきましては、電子化も進み予稿集やガイドを持ち歩かなくても、スマートフォンやタブレット端末さえあれば用を足してしまいます。また、教育講演などの電子化なども試され、ネイティブによる英語発表も等もe-ランニングへの活用が期待されております。今後、益々電子化、国際化が進みリアルタイムで研究成果が世界へ発信される日も近いのではと感じています。最後になりますが、本大会の準備、運営にご協力いただきました日本ラジオロジー協会の皆様、公益社団法人日本放射線技術学会事務局の皆様をはじめ各委員会の皆様、関係者各位には心より感謝申し上げます。